

市政記者各位

フィジー共和国への水道技術支援は、**日本では福岡市だけ**です！！

フィジー共和国

フィジー共和国への国際協力をさらに推進します！

～漏水防止に加え、新たに節水型都市づくりの技術指導に取り組みます～

福岡市水道局では、平成26年より、高い漏水率に悩むフィジー共和国への国際協力として、本市が持つ漏水防止技術の指導を進めてきました。

平成29年からは、新たに採択されたJICA(国際協力機構)「草の根技術協力事業」※1を実施し、節水型都市づくりの技術指導等を行いながら、引き続きフィジー共和国の給水環境改善を支援するとともに、活動を通じて地場企業のビジネス機会の提供にも取り組みます。

○ 新たに実施する技術協力の概要

- (1) 事業名：フィジー共和国 ナンディ・ラウトカ地区における給水サービス強化事業
- (2) 目標：高い漏水率を削減し、水道利用者に安定的な給水サービスを提供する。
- (3) 事業費：約6,000万円
- (4) 活動期間：平成29年9月頃～平成32年9月頃(3年間を予定)
- (5) 事業対象：フィジー水道技術者・**水道利用者** NEW
- (6) 事業内容：本市職員による現地指導、フィジー水道技術者の受入研修、資機材の供与等により、
「水道利用者の節水意識向上のための活動」
「フィジー人技術講師等の養成」
「無収水量※2削減活動等の拡大」 に取り組みます。

(注) 相手国との協議により、今後、活動期間・活動内容は変わる可能性があります。

なぜ、フィジー共和国に技術支援を行っているか

高い漏水率(50%以上)や、水需要の増加等に伴う水不足に悩むフィジー共和国が、同様の課題を解決してきた福岡市に対し、技術協力を希望したことから本事業が実現。

福岡市が有する技術・経験

- ☞ 2度の大渇水を教訓に、**市民との協働により水不足を克服**
- ☞ 世界トップレベルの**低い漏水率(2.3%)**(H27) <<約60年前(S31年)の漏水率：38.6%>>

節水意識調査

(H28年度市政アンケート)

節水を心がけている
福岡市民

90.9%

家事用(一般家庭用)の1人1日あたり平均使用水量は197L(H27年度実績)と大都市の中で最も少ない水準となっています。

※1 JICA草の根技術協力事業とは・・・

国際協力の意志を持つ地方自治体等による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICAが政府開発援助(ODA)の一環として促進し助長することを目的に実施する事業

※2 無収水量：配った水道水のうち料金収入につながらなかった水量(例：漏水量、メータ不良で計測されない水量)

【お問い合わせ先】

水道局 経営企画課 中野・渡邊
TEL:092-483-3107 (内148-3107)

(参考)

フィジー共和国への技術協力について (JICA草の根技術協力事業)

◆現在の取組み

漏水調査の技術指導



漏水修理の技術指導



配水管整備に係る技術指導



平成26年からの3年間で
福岡市から延べ**65名**の職員を派遣し、現地指導
フィジーから**15名**の技術者を受入れ、研修実施

平成29年5月に
加・ジ・ン・グ・セ・ミ・ナを
現地で開催予定

◆今後の取組み及び期待される成果・効果

水道利用者の節水意識向上のための活動

- 水道利用者への節水意識アンケート調査
- 広報活動計画の作成・実施
- 節水機器普及モデルプロジェクトの実施

フィジー人技術講師等の養成

- 講師養成プログラムの作成
- プログラムに基づく研修の実施



フィジー人講師養成の様子
(現地研修フィールド)

無収水量削減活動等の拡大

- 漏水調査・修理等を広域的に実施
- 出水不良・高水圧地区解消計画の作成・実施
- 配水管更新計画の作成

宅地内で無駄になっている水や漏水が削減される

フィジー水道技術者により無収水量が削減される

有効に利用できる水量が増加し安定供給へ